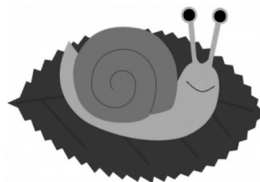


農業



令和2年6月号
会誌 No. 1665

目次

巻頭言

国内農業を守り抜く……………林田 直樹 3

論 壇

世界農林業の適正配置構想……………祖田 修 4
－食料自給率問題に寄せて－

農業懇話会

地域社会の機能と再生：理論と実践……………福与 徳文 6

地域セミナー 栃木

新時代の農業・農村の展開…………… 27
基調講演 …………… 27
令和の農業農村を拓く……………忠 聡 27
パネルディスカッション…………… 34

研究の最前線

ゲノム編集技術の農作物への活用に向けた現状と未来……………高原 学 42

農業・農村の現場から

「乳」を通じて心身共に健やかに，街の中で100年先も必要とされる牧場
－東京都八王子市「磯沼ミルクファーム」 磯沼 杏氏－ ……澤野 久美 50

世界の農業は今

フランス農業を支える技術研究所：アルバリス（ARVALIS）

－畑作物応用研究試験機構－……………関根 久子 56

私の経営と志

私の今までとこれから……………篠原 貴大 62

－父を超える－

統計情報

令和元年産指定野菜（春野菜，夏秋野菜等）の作付面積，
収穫量及び出荷量…………… 64

農政情報

…………… 65

大日本農会だより…………… 66

ミニ情報

西洋なしの生産動向…………… 49

「MAFF アプリ（マフアプリ）」を提供開始…………… 61

表紙写真説明

ハウス新ショウガの掘りあげ（高知県高知市春野町）

ハウスで栽培される新ショウガはみずみずしくさわやかな香りが持ち味，野菜感覚で生でも食べられます。

生産が最も多い春野町ではメロンやキュウリ・花きの後作としても盛んに栽培されています。電照栽培による超促成栽培で3月から出荷が始まり，6月から7月にピークを迎え，9月中旬まで続きます。熱帯原産とされる植物なので適度な水やり，温度や湿度の管理が欠かせません。

専用機械ショウガライザーで収穫しやすいように茎を持ち上げて，葉が茂った茎の上の部分の部分を切除しますが，最後は人の手で掘りあげます。その後はJAの専用洗い場で手洗います。丁寧に泥を洗い流すと真っ白な肌に紅を差した美しい姿を現します。

すがすがしい辛味が特徴で，春野新生姜部会ではオリジナルレシピを作成し，店頭で配布するなど消費者にアピールしています。

（写真及び文：高知県農業協同組合（JA 高知県）統括本部

組織人事部 組織広報課 藤井 七絵）